

分担研究課題 生薬・漢方製剤の安全使用に関する研究

研究分担者 袴塚高志 国立医薬品食品衛生研究所 生薬部長

研究分担者 政田さやか 国立医薬品食品衛生研究所 生薬部主任研究官

「漢方セルフメディケーション」ホームページの利用状況調査

研究要旨 一般用漢方製剤について安全性確保の観点から、体質・症状に応じた適切な使用方法を推進することを目的として、消費者が一般用漢方製剤について学び、体質・症状に合った処方を選択する手助けとなるように作成、公開した「漢方セルフメディケーション」ホームページについて、公開から1年間のアクセス状況を解析した。ホームページのアクセス数は順調に増加しており、PCの他、スマートフォンやタブレット端末での利用も広がっていることが明らかになった。検索エンジンからのアクセスも増加傾向になる一方で、滞在時間が短く直帰率が高いことから、ホームページの内容には改良の余地があると考えられた。

研究協力者

内山奈穂子 国立衛研生薬部第二室長

A. 目的

第2類医薬品に分類される一般用漢方製剤の安全性確保のためには、薬剤師又は登録販売者が漢方医学的考え方にに基づき購入者に適切な使用を促すことが期待される。漢方医学には体質、体力、病状、病歴などを表現する特有の「証」という考え方があり、平成23年度の薬事・食品衛生審議会医薬品等安全性対策調査会では、一般用であっても漢方製剤の安全性を担保するためには「証」に合った使用が重要である旨が指摘されている。この意見を受けて従前の厚労科学研究「一般用医薬品における、化学合成品等のリスク区分の見直しと漢方製剤の安全性確保に関する研究（平成24～26年）」では、薬剤師や登録販売者による服薬指導を念頭に、一般用漢方製剤の適切な使用を促し、副作用回避を支援する目的で、薬局店頭において販売者の情報提供や購入者のセルフチェックに利用できる情報提供ツールを作成してきた。これまで

に、「安全に使うための漢方処方の確認票」（以下、「確認票」）39処方と、39処方の使い分けの目安となる「安全に使うための一般用漢方処方の鑑別シート」（以下、「鑑別シート」）が完成している。

他方、平成25年1月の最高裁判決や同年6月の日本再興政略の策定を経て、薬事法が改正され、平成26年6月12日以降、要指導医薬品を除くすべての一般用医薬品は一定の条件下で、インターネットや電話で販売・入手できるようになった。すなわち、消費者が自ら「証」に合った漢方処方を選択し、安全かつ効果的に漢方薬を服用するためには、店頭販売のみならず、インターネット販売に対応した消費者向けの情報提供が必要となった。そこで本研究では、インターネット販売を見据えた購入者の安全性を確保する方策として、上述の「確認票」及び「鑑別シート」を基礎として、インターネットを通じて、消費者が自分の体質や症状に合った処方を選択し、適正に漢方製剤を服用する手引きとなるwebサイトの作成に着手した。本年度は、昨年度末に公開したwebサイト「漢方セル

フメディケーション」<<https://www.kampo-self.jp>> について、1年間のアクセス状況を解析した。

B. 方法

一般用漢方製剤の情報提供サイト「漢方セルフメディケーション」を運営するレンタルサーバーが提供するアクセス解析機能を用い、平成29年1月10日から平成30年1月31までの期間のアクセス数を、月別、OS・ブラウザ別、アクセス元別、滞在時間別に算出した。

訪問者数：サイトにアクセスした訪問者の数。同一IPはカウントしないユニークなアクセス数。

訪問回数：サイトがアクセスされた回数。同一IPの60分以内のアクセスはカウントしない。

ページビュー(PV)：サイトでHTML文書が表示された回数。同一IPでもカウントする。

(倫理面への配慮)

ヒト由来サンプル及び実験動物を使用しておらず、該当する事由はない。

C. 結果・考察

月間アクセス数

数値を表1、グラフを図1に示す。

公開直後の平成29年2～4月は、月間PV数が2,000程度だったのに対し、5月に3,000を超え、平成30年1月には5,000に達した。この間、関連団体への情報提供に加え、日本薬学会年会等学術大会でのポスター発表や、講演等での紹介、チラシ配布(図2)等を行った翌月にアクセス数が増加していたことから、こうした周知活動も利用者の増加に貢献したと考えられた。

OS・ブラウザ

閲覧に使用された主なOS、ブラウザの種類とその推移を図3、4に示す。

平成29年3月以降の閲覧用OSはWindowsが50～70%の割合で推移し、次に、iOSとLinux

Androidの割合が高かったことから、PCのみならずスマートフォンやタブレット端末からも閲覧されている状況が明らかになった。ブラウザの種類は多様であったが、平成29年3月以降は15～30%の割合でsafariが使用されていたことから、OSの解析結果と合わせて、iPhoneやiPadによる閲覧の増加が確認された。

我が国におけるインターネット接続機器の利用率はスマートフォンが58%に達し、パソコンの59%と並ぶまで一般的になった¹⁾。同時に、タブレット端末の利用率も24%と急激に増加しつつあることから、「漢方セルフメディケーション」の効果的な利用のためには、こうした機器での使用を意識したサイト構成も重要であると考えられた。

アクセス元

推移を図4のグラフに示す。

公開直後からお気に入りやURL入力(QRコード含む)による直接アクセスの比率が高く、平成29年5月以降は常に90%を超えていた。サイトの性質上、漢方処方や症状に合わせて繰り返しアクセスされていると推定され、利用者が一定数固定されている状況が明らかとなった。一方、件数ベースでは検索エンジンからのアクセスも増加しており、検索ワードとして「国立医薬品食品衛生研究所」「セルフメディケーション」「漢方 証 セルフチェック」等が把握できた。検索エンジン以外からのアクセスは、日漢協や日本薬剤師会のホームページからが多く、本サイトは一般消費者を対象に作成したものであるが、専門家からの注目度も高いことが明らかとなった。

滞在時間

サイトオープン2ヵ月目(平成29年3月)と1年後(平成30年1月)におけるアクセス状況の比較を表2に示す。

滞在時間は「30秒未満」が多く、毎月90%台で推移し、一見の利用者が多い状況が伺えた。

しかし、公開直後は「30秒未満」の次に「30秒～2分」の比率が高かったのに対し、平成27年5月以降は「30分～1時間」、「1時間以上」の比率が高く10%程度で推移しており、固定の利用者が長時間使用している状況も明らかになった。週末や夜間よりも平日の日中のアクセスが多いことから、薬局やドラッグストアの店頭で使用されている可能性も高く、本サイトは専門家の利用が多いと類推された。

り 総務省：平成29年度情報通信白書。
<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h29/pdf/n1100000.pdf>. [cited 2018-3-12]

D. 結論

本年度は、消費者向けの一般用漢方製剤の情報提供サイト「漢方セルフメディケーション」の公開から1年間のアクセス状況の解析を行い、現在の利用者像を明らかにした。今後、アクセス解析により得られた情報をもとに、サイトを修正、改善するとともに、広く周知活動を行うことによって、本研究成果が一般用医薬品の安全で有効な利用を促進し、セルフメディケーションによる国民の健康・福祉に貢献することを期待する。

E. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

政田さやか, 内山奈穂子, 袴塚高志, 一般用漢方製剤の安全性確保に関する研究(7):「漢方セルフメディケーション」ホームページの開設とアクセス状況, 第3回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム, 東京 (2017. 9).

政田さやか, 内山奈穂子, 袴塚高志, 一般用漢方製剤の安全性確保に関する研究(8):「漢方セルフメディケーション」ホームページの周知活動とアクセス状況 日本薬学会第138年会, 金沢 (2018. 3).

F. 知的財産権の出願・登録状況

なし

表1 「漢方セルフメディケーション」 ホームページの月別アクセス状況					
	イベント	訪問者数	訪問回数	PV 数	平均 PV 数
平成 29 年 1 月	1/10 サイトオープン 1/26 情報提供（日漢協）	140	256	2,178	8.51
2 月		916	1,064	2,322	2.18
3 月	3/25 学会発表	997	1,104	1,893	1.71
4 月	4/28 情報提供（薬剤師会）	1,234	1,553	2,273	1.46
5 月		1,425	1,945	3,464	1.78
6 月	6/2-3 学会チラシ配布 6/17 所内一般公開	1,412	1,920	3,359	1.75
7 月		1,512	2,061	3,818	1.85
8 月		1,709	2,225	3,306	1.49
9 月	9/16 学会発表	2,389	2,998	4,142	1.38
10 月	10/8-10 学会チラシ配布	2,640	3,473	4,812	1.39
11 月		2,354	3,257	4,390	1.35
12 月		2,162	3,509	4,905	1.40
平成 30 年 1 月		2,486	3,880	5,089	1.31

表2「漢方セルフメディケーション」オープン2ヵ月目と1年後におけるアクセス状況の比較			
		平成29年3月	平成30年1月
一日あたりの最大訪問回数		62	144
一日あたりの平均訪問回数		35.6	125.2
一日あたりのPV最大値		133	270
一日あたりのPV平均値		61.1	164.2
OS (ヒット数)	Windows	6,546 (64.1%)	5,774 (56.5%)
	Macintosh	284 (2.8%)	329 (3.2%)
	Linux Android	1,752 (17.2%)	964 (9.4%)
	iOS	1,574 (15.4%)	3,046 (29.8%)
	その他	52 (0.5%)	109 (1.1%)
ブラウザ (ヒット数)	MS Internet Explorer	3,345 (32.8%)	1,719 (16.8%)
	Google Chrome	3,089 (30.3%)	1,656 (16.2%)
	Firefox	1,631 (16%)	3,107 (30.4%)
	Safari	1,493 (14.6%)	3,036 (29.7%)
	その他	650 (6.3%)	696 (6.7%)
アクセス元 (PV数)	お気に入りやURL入力	1,041 (86.7%)	4,438 (95%)
	検索エンジン	94 (7.8%)	137 (2.9%)
	外部リンク	66 (5.5%)	99 (2.1%)
滞在時間 (訪問回数)	0秒-30秒	994 (90%)	3,534 (91.1%)
	30秒-2分	43 (3.9%)	32 (0.8%)
	2分-5分	24 (2.2%)	26 (0.7%)
	5分-15分	18 (1.6%)	58 (1.5%)
	15分-30分	11 (1%)	61 (1.6%)
	30分-1時間	8 (0.7%)	95 (2.4%)
	1時間以上	6 (0.5%)	74 (1.9%)

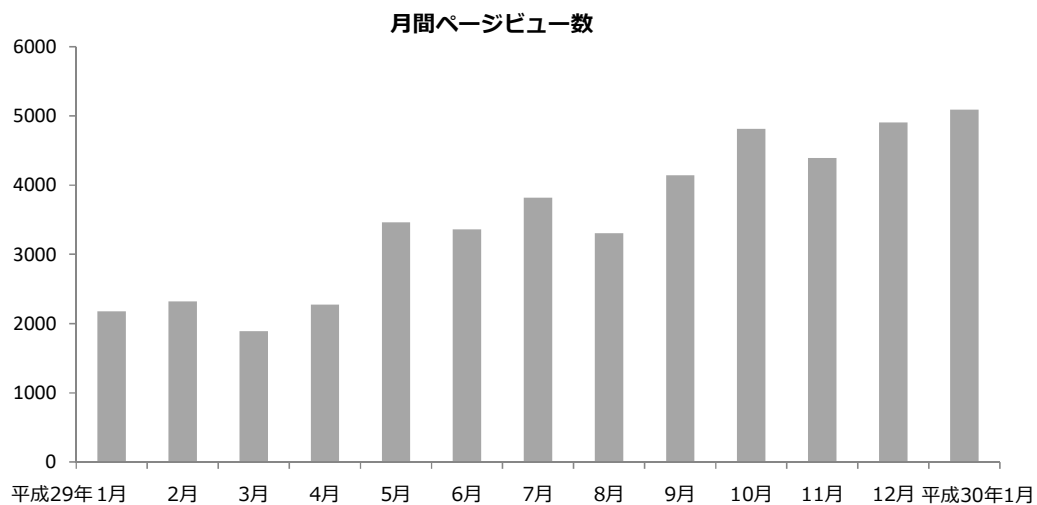
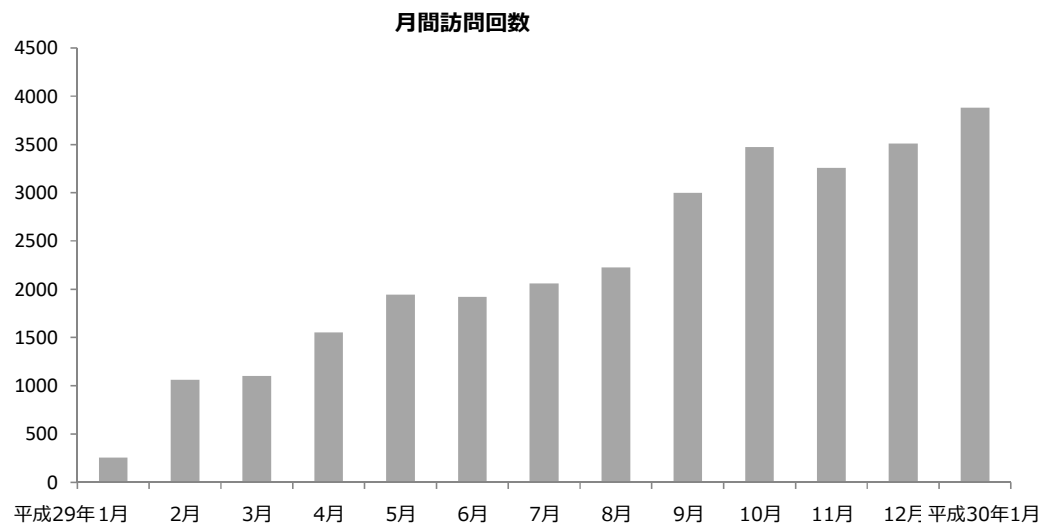
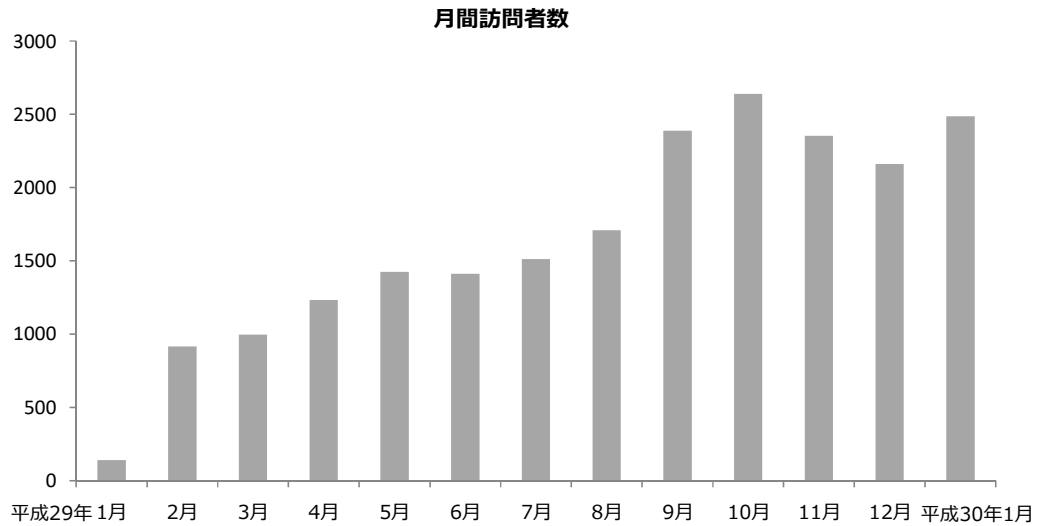


図1 「漢方セルフメディケーション」ホームページの月別アクセス状況の推移

一般用漢方製剤を安全に使用していただくための情報提供サイト
「漢方セルフメディケーション」のご紹介
<https://www.kampo-self.jp>



QRコード



漢方セルフメディケーション

ホーム 漢方薬を選ぶ 服用前のセルフチェック 市販薬検索 コラム ダウンロード

本サイトは一般用漢方製剤を安全に服用していただくための情報提供サイトです。

- 漢方薬ってどうやって選べばいいの？
- 本当に効くの？副作用はないの？
- 市販薬にはどんな漢方薬があるの？



漢方薬は副作用が少ないといわれていますが、「証」に合わない薬を服用すれば、場合によっては具合が悪くなることもあります。

本サイトを利用して、より安全かつ効果的に漢方薬を服用しましょう。

厚生労働科学研究費補助金「漢方製剤の安全性確保に関する研究」研究費



リンクも歓迎します！



証とは？

漢方医学的な考え方で、その人の体質や体力をあらわし、服用薬を選ぶ上での指針となるものです。
詳しくは、[コラム](#)をご覧ください。

本サイトでは、体力を主な指標とらえ、「実証＝体力充実（体力がある）」「虚証＝体力虚衰（虚弱体質）」と表現しています。

「漢方セルフメディケーション」は、一般消費者が自分の体質や症状に合った処方を選択し、適正に漢方薬を服用するための手引きとして作成されました。PC、スマートフォンのウェブブラウザからご利用いただけます。
上記URLあるいはQRコードからアクセスしてご利用ください！

漢方薬を選ぶ



服用前のセルフチェック



第2類医薬品である一般用漢方製剤の服用に当たっては、薬剤師あるいは登録販売者の情報提供が努力義務として掲げられていますが、一般用医薬品のインターネット販売の対象拡大に伴い、消費者自身の自主的な情報収集と商品選択が重視されつつあります。

このような背景から、厚生労働科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業「一般用医薬品における、化学合成品等のリスク区分の見直しと生薬・漢方製剤の安全使用に関する研究」（平成27年度～）〔研究代表者：国立医薬品食品衛生研究所生薬部長 袴塚高志〕において、一般用として売上げの多い漢方処方を中心に、消費者の情報収集と商品選択の一助となるようなウェブサイトが作成されました。

当該ウェブサイトは、国立医薬品食品衛生研究所生薬部が管理する「漢方セルフメディケーション」<<https://www.kampo-self.jp>> にてご覧いただけます。

お問い合わせ：国立医薬品食品衛生研究所生薬部 「漢方製剤の安全性確保に関する研究」事務局
〒158-8501 東京都世田谷区上用賀1-18-1 e-mail: kampo-azen@nihs.go.jp

図2 「漢方セルフメディケーション」ホームページ案内チラシ

OS別アクセス統計

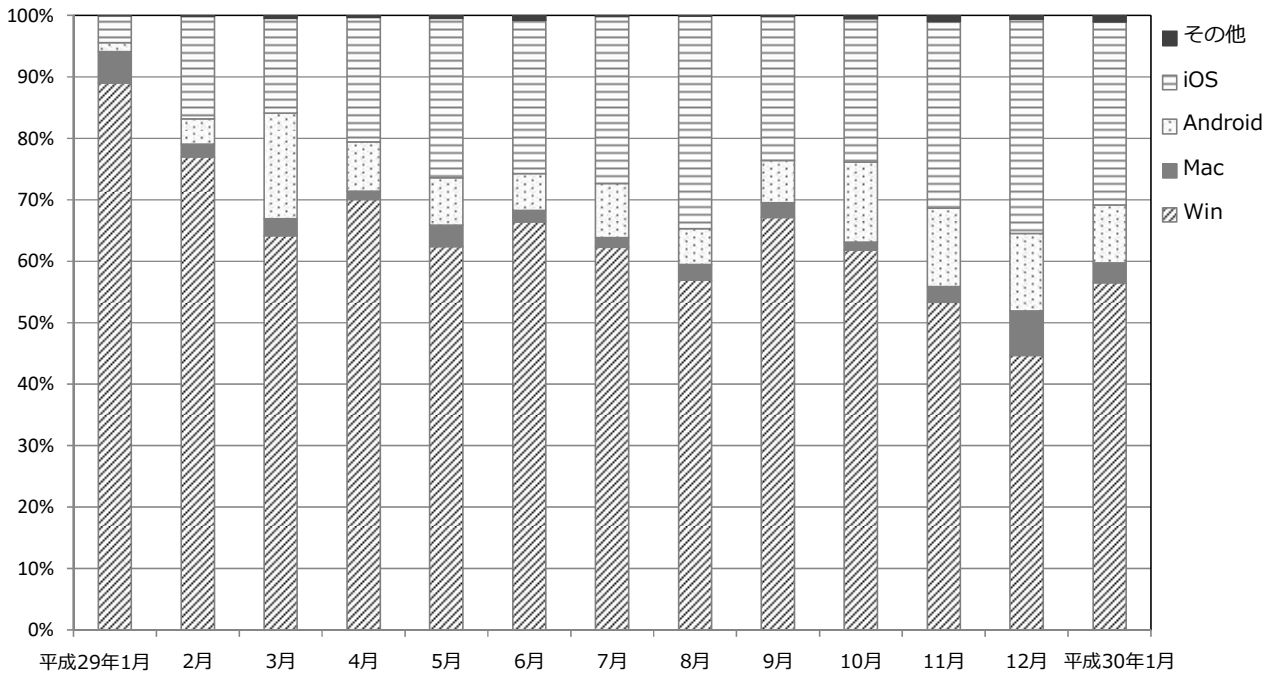


図3 「漢方セルフメディケーション」ホームページのOS別アクセス推移

ブラウザ別アクセス統計

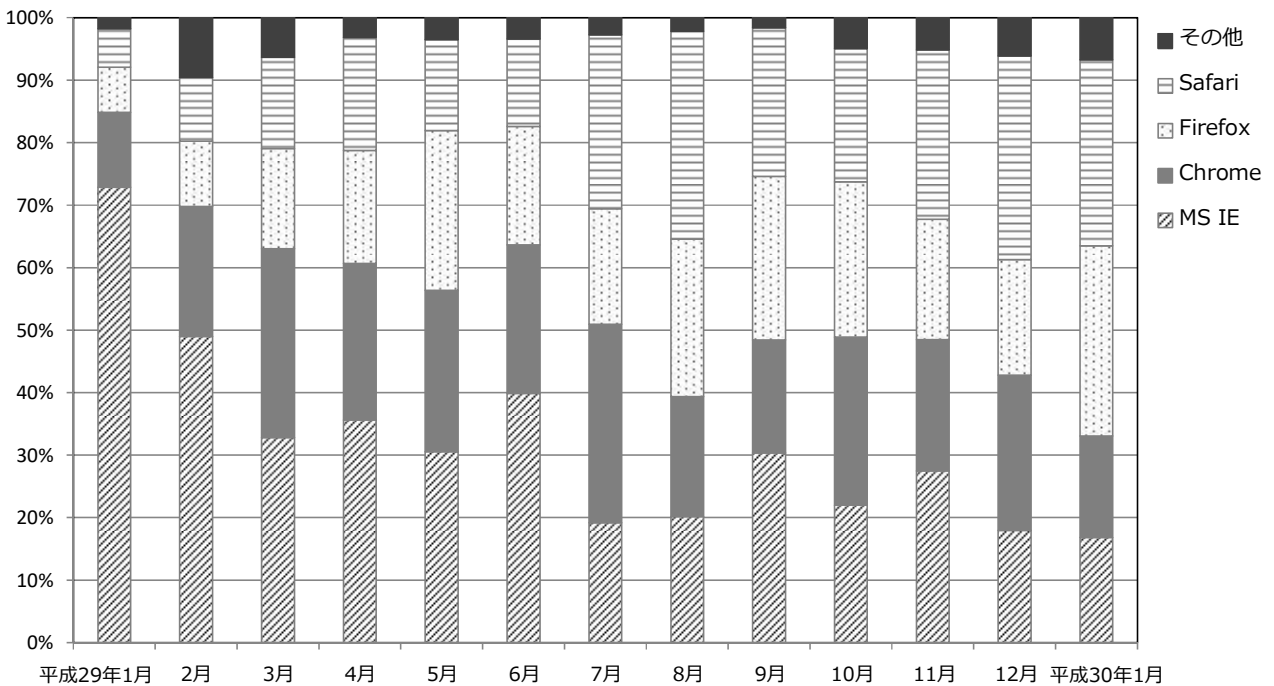


図4 「漢方セルフメディケーション」ホームページのブラウザ別アクセス推移

月別アクセス元統計

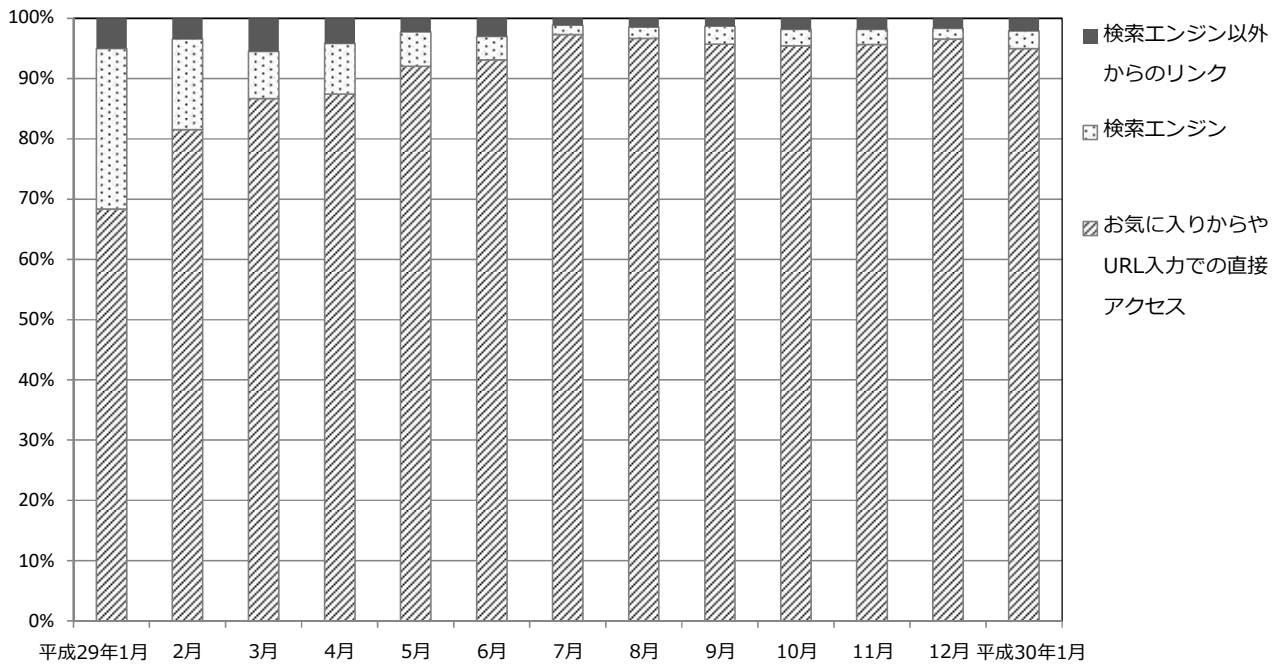


図5 「漢方セルフメディケーション」ホームページのアクセス元の推移

